浦安鐵鋼団地景況実感調査結果表 (2023年11月分)

ご協力ありがとうございました。2023年11月分の結果をお送りいたします。よろしくご査収ください。

調査対象 142社 回答 135社 回答率 95.1%

						H/HJ	且刈豕	1 12 11.		199年	四合平	JU. 1/0
		前	J	1	比			前	年「	司 月	比	
調査項目	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下 降・不況	計	10%以上 増加・上 昇・好況	やや 増加・上 昇・好況	横這い ・平常	やや 減少・下 降・不況	10%以上 減少・下況 降・不況	計
売上数量	8社	17社	67社	30社	14社	136社	17社	21社	38社	28社	30社	134社
	5. 9%	12. 5%	49. 3%	22. 1%	10. 3%		12. 7%	15. 7%	28. 4%	20. 9%	22. 4%	
	(17. 5)	(27. 7)	(45. 3)	(6.6)	(2.9)		(18. 5)	(16. 3)	(25. 9)	(23. 7)	(15. 6)	
売上高	8社	17社	67社	28社	15社	135社	19社	20社	41社	28社	26社	134社
	5. 9%	12.6%	49.6%	20. 7%	11. 1%		14. 2%	14. 9%	30.6%	20. 9%	19. 4%	
	(19. 0)	(29. 2)	(40.9)	(8.8)	(2. 2)		(16. 9)	(16. 9)	(27. 2)	(23. 5)	(15. 4)	
在庫数量	5社	15社	82社	26社	3社	131社	13社	21社	58社	22社	14社	128社
	3.8%	11. 5%	62.6%	19.8%	2. 3%		10. 2%	16. 4%	45.3%	17. 2%	10. 9%	
	(1.5)	(11.4)	(63. 6)	(18.9)	(4. 5)		(6. 2)	(16. 9)	(47. 7)	(17. 7)	(11.5)	
販売単価	2社	6社	111社	15社	0社	134社	10社	24社	65社	28社	5社	132社
	1.5%	4. 5%	82.8%	11. 2%	0.0%		7.6%	18. 2%	49. 2%	21. 2%	3.8%	
	(2. 2)	(5. 9)	(73. 5)	(16. 9)	(1.5)		(6.7)	(20.0)	(45. 9)	(25. 2)	(2. 2)	
収益状況 (粗利)	6社	18社	66社	29社	17社	136社	9社	17社	52社	25社	30社	133社
	4.4%	13. 2%	48.5%	21.3%	12. 5%		6.8%	12.8%	39. 1%	18.8%	22. 6%	
	(10. 2)	(21. 9)	(52. 6)	(10.9)	(4.4)		(3.0)	(14. 9)	(41.8)	(26. 1)	(14. 2)	
稼働率 (生産・ 加工設備)	2社	16社	75社	17社	9社	119社	7社	15社	60社	18社	15社	115社
	1. 7%	13. 4%	63.0%	14. 3%	7. 6%		6. 1%	13.0%	52. 2%	15. 7%	13.0%	
	(5.0)	(25. 2)	(59. 7)	(9. 2)	(0.8)		(3.4)	(16. 2)	(47. 9)	(23. 9)	(8.5)	
入出庫の トラック台数	2社	13社	84社	22社	10社	131社	3社	18社	68社	26社	14社	129社
	1.5%	9. 9%	64. 1%	16.8%	7.6%		2. 3%	14.0%	52. 7%	20. 2%	10. 9%	
	(5.3)	(24. 2)	(61.4)	(8.3)	(0.8)		(3. 1)	(16. 9)	(51. 5)	(20.0)	(8.5)	
	現在の景況感						3ヶ月後の景況予測					
	0社	13社	64社	37社	17社	131社	0社	15社	94社	17社	3社	129社
	0.0%	9. 9%	48.9%	28. 2%	13. 0%		0.0%	11.6%	72. 9%	13. 2%	2. 3%	
	(0.8)	(9.8)	(49. 2)	(29. 5)	(10.6)		(0.0)	(12. 3)	(74. 6)	(12. 3)	(0.8)	
特記事項												

- 注 ①調査対象会社数は浦安に事業所の無い会社(不在地主など)は除外してあります
 - ②()内の数字は前月のパーセントです
 - ③結果表は全品種の動向として集計し、品種別の要因を取り上げる必要がある場合は 特記事項欄に別途記載いたします
 - ④本調査の宛先等の変更は、浦安鐵鋼団地協同組合事務局までご連絡ください事務局 TEL:047-350-5311 FAX:047-350-5316

景況実感調査(2023年11月)特記事項

毎月、景況実感調査にご協力頂きましてありがとうございます。集計結果は別紙にてお送りしましたが、今月もたくさんのコメントを頂きましたのでお送りします。ご査収下さい。

[お断り]毎月のコメントはあくまで個々の"生の声"です。業界全体の標準的見解とは、若干異なる場合もあります。また、不適当な表現やわかりにくい表現については書き直しております。信用問題にかかわるものも原則として掲載しておりません。

薄板 • 表面処理鋼板

- ① 11 月は前月比横這いであった。自動車関連は好調を維持しているが、他の分野は精彩を欠き、プラスマイナス 0 といった感じである。店売りは動きが鈍く、三品在庫は減少しているがタイト感が出てこない。しばらくは様子見が続くと思われる。
- ② 11 月は稼働日が減り、売上も稼働も減となった。自動車も好調を維持しているが、メーカーによりけり。中小物件の良い話もなく、秋とは思えない荷動きであった。
- ③ 12、1、2 月と休みも多くなり、稼働日数もその分少なく、毎年この時期は得意先と の打ち合わせや品質管理、納期対応のミスのないよう、また安全管理の徹底教育を する。
- ④ 10 月の販売が日当たり 10%以上多かったが、11 月には 9 月以前の販売量に戻ってしまった。建築需要に代表されるように需要低迷は継続したままであった。物件の見積り依頼も少ないままなので、来年1~3月まで少なくとも同様の状態が続くと思われる。

中板

① 中板の実需は精彩を欠いており引合いは低調だが、高炉メーカーが紐付きの値上げ 交渉の報道から潮目が変わり、単価下落の歯止めとなってきた。すぐに相場が上が る雰囲気ではないが、東鉄の単価次第で状況は変化してくると思われる。

厚板

- ① <全体感>厚板を扱う各産業分野においては前月と状況は変わらず、市中在庫は 13 カ月連続で減少しており、適正在庫の域に入っている。しかしながら、やはり肝心の需要に盛り上がりがなく、荷動きは全く低調。原料コスト要因で高炉材に値上げの兆しはあるものの、仮需の動きはまだ見受けられない。<分野別>建機分野では、一部高い生産計画を維持していたメーカーも、下期計画を下方修正する発表があり、主要建機メーカーは総じて下期は調整局面を迎えている。産機分野では、工作機械受注額が 10 ヵ月連続で前年割れしており、先々の不透明感がいっそう増している。店売り分野では、引き続き中小建築物件を中心に計画の見直しや後ろ倒しが散見され、堅調であった建機分野の減速もあり当面、需要の回復は望めない。
- ② 建設機械は、機種によっては減産の計画が出始めている。店売り関連は、人手不足等の影響で案件の延期・中止等により売上も減少している。
- ③ 予定物件が若干動き出し、街中の仕事でも一部の業種では忙しくなってきた様子が見受けられる。原材料の価格高騰によるメーカーの値上げ表明もあり、今後も動きを注視したい。

一般形鋼 · H形鋼

- ① 9月以降、月中の荷動に好不調の動きが顕著になった。秋需の盛り上がりもなく経過し、年末・年始と期末を控え、更に最近の政治不信も重なり見通しは暗い。
- ② 延びている現場が多い。職人不足で進んで行かない。
- ③ Hは遅延物件の出荷で前半好調も、新規案件に迫力なく失速。とくに店売り分野が目立ち中小案件の乏しさが窺えるが、季節柄と市中在庫状況から土木向けは比較的好調であった。したがって広幅 H 中心に土木ニーズの高いサイズはメーカーを含めタイトな状況。一般形鋼は大きな増減はなく低位安定。市況は相変わらず劣悪な状況。しかしながら、各メーカーから 24 年物流問題を始めとする環境へのコスト対策発信により、目立った安値更新は止まったと認識する。今後は我々流通も同様のコスト環境を丁寧な説明でマーケットへの理解を求め、業界全体でこの局面に対応すべきと考える。

異形棒鋼

- ① 当月も荷動きに盛り上がりはなく、細かい売上の積み重ねであったが、締めてみると10月より良い結果となった。スクラップ及び製品市況は2カ月以上横這いで、膠着状態にあるが、細かい需要の荷動きがあり月次に反映された。
- ② 浦安の店売り販売は10月、11月、12月前半とほぼ同じ動き。量的には少ないがそこそこの動き。市況は横這い。

平金剛

- ① 中旬以降、荷動きが悪くなってきた。製造業向けは堅調だが、建築向けが人手不足などにより遅れが生じている。価格は、一部で安値も散見されるが維持されている。
- ② 荷動きは11月に入ってからやや悪くなっている。社内加工も10月の山積みと比べると2割~3割減っている。中小案件も出てきたが細かく、数量が伸びない。年内はこのままの状態か。

軽量形鋼

① 稼働については前月並み。年度末(3月)まで横ばいの見込み。

銀箔管

- ① 前月に比べて日割り出荷の上昇とともに、やや活気が出てきた。価格は下げ止まり 感もあるが、まだ弱基調である。
- ② 出荷量は 11 月としては低迷。仕事が少ないというより納期遅延が増加。加工量、受注量は回復。12 月に値上げを発表するメーカーもあり、潮目が変わるだろう。
- ③ 遅れていた首都圏の大型物件需要は徐々に回復気配で、販売店向けの倉出しもやや 増加傾向にある。メーカーの価格政策もあり、市況は維持されている。

構造用鋼

① 需要は、自動車関連でトヨタ中心に上向きだが、紐付き主体で関東地区や店売りへの効果は感じられない。建機も徐々に減少している。産機、工作機械も調整局面の様相。総じて需要は振るわない。在庫は需要低迷で出荷量が伸びず、多めの状態。価格は、一部安値も散見されるが、中心値は横這いで推移。

磨棒鋼

① 9~10 月の回復傾向から一転し紐付き品、店売り品共に下落。自動車向け紐付き品 は年末まで調整局面が続く見込み。建機向けも一部を除いて出荷減へ。店売り品も さらにもう一段下落した感があり、年明け以降も回復の気配すら見えない。

その他

<異形バーインコイル・ナマシ鉄線>

① 鉄線、ナマシ線は輸入材の上昇気配が見られてきた。今後、国内メーカーも値上げを唱える可能性が出てきたが、現状の荷動きでは現実味は薄いと思われる。販価の現 状維持に注力していく。

<鉄スクラップ>

① 11月のスクラップ市況は価格、荷動き共に大きな動きはなかった。国内外でのスクラップ需要も低調が続いていて、12月も期待できるような要因はなく、年内は様子見の状況が続きそうだ。

<金属表面処理>

① 11 月は先月と同じぐらいの処理量となった。12 月も同じぐらいの操業になると予想。「物流 2024 年問題」による輸送コスト増が心配。